

北海道「農林水産・ものづくり・IT等北のシーズの次世代向け高度化・市場化」 連携支援計画

I 必須記載事項

1 連携支援事業の目標

(1) 支援対象とする事業分野について

本計画においては、北海道及び道内市町村が作成した47の同意基本計画（平成31年2月28日現在）のうち、32の同意基本計画に定める、以下の地域の特性を活用した事業分野を支援対象とする。

- ①農林水産業分野
- ②ものづくり関連分野
- ③IT・クリエイティブ関連分野

※道内における同意基本計画（平成31年2月28日現在）に記載されている「5（1）地域の特性及びその活用戦略」と本計画における連携支援事業との整合性のある事業分野の詳細は別紙のとおりである。このため、本計画における連携支援事業を実施する地域は同意基本計画の促進区域をベースとした北海道全域となる。

※なお、今後新たに基本計画（計画変更含む）が作成・提出された場合、本計画における連携支援事業が支援対象とする事業分野との整合性を図りながら、連携支援事業を実施していくものとする。

北海道は、我が国の国土の22.1%を占める広大な土地に、538万人（平成27年国勢調査）が生活する地域であり、人口の3割以上が札幌に集中しているものの、道央、道南、道北、道東、十勝、オホーツクといった各圏域で特徴ある経済活動を続けている。

北海道は、歴史的に農林水産業の分野に強みを持ち、平成27年度の道内総生産額（名目）は18兆9,612億円で全国の3.5%となっているが、農業産出額（全国比12.9%）、林業産出額（同11.5%）、漁業産出額（同26.6%）と、農林水産業のシェアが高くなっている。とくに農業分野においては、全国の1/4の耕地面積を活かし、稲作、畑作、酪農などの土地利用型農業を中心とした農業を実施し、1農業経営体当たりの経営耕地面積は28.9ha（北海道農政部（平成30年））と他の都府県の13.1倍、主業農家の割合は72.9%（同）と他の都府県の3.6倍であり、大規模で専門的な経営を展開している。

一方で、製造品出荷額等は全国比1.8%（平成27年度道内総生産額（名目）との比較）と、農林水産業に比べて全国シェアが低く、北海道経済に占める製造業のウェイトも低い。公的需要への依存度が高いこと、域際収支が入超であることに加え、この製造業のウェイトが低いことが北海道経済産業の構造的な課題として指摘されている。

このような産業構造が特徴の北海道において、知的産業とも言えるIT・クリエイティブ産業については、自治体の産業促進施策とも相まって集積が見られている。IT産業においては、平成29年度の売上が4,391億円（一般社団法人北海道IT推進協会調べ）と、リー

マンショックにより一時減少に転じたものの、ここ6年間は毎年数%の成長を示している。また、アニメやゲーム産業に関連した企業活動も行われており、ITとデザイン・クリエイティブが連動したメディアアーツ関連の集積も見られている。例えば札幌市では、文化芸術に代表される創造性を生かして、まちの活力や経済活性化につなげていく「創造都市さっぽろ」の取組を推進しており、その一環として、ユネスコ創造都市ネットワークのメディアアーツ分野での加盟を申請し、平成25年11月、世界で2都市目、アジアで初めて、「メディアアーツ都市」として同ネットワークへの加盟が認定された。一方で、道内のIT企業は、首都圏等からの受託開発を行う企業が多く、先端的技術を活用したイノベーションの創出などによる、所謂下請構造からの脱却が重要な課題と指摘されている。また、クリエイティブ産業であるコンテンツ関連企業についても、中小零細企業が多く、自身のクリエイティブ力の向上に加え、新たな市場の開拓・拡大、経営体質の改善が課題となっている。

人口減少や高齢社会の進展、世界的競争といった社会環境の変化に対応して、持続可能な北海道経済を維持発展させていくためには、次世代の技術と市場を見据えた「強みをより強く」「弱みを克服」することが何より必要である。上記に示したように、北海道経済を支える基幹産業でもある農林水産業については、省力化や自動化、付加価値向上による競争力強化、IT・クリエイティブ産業については、その集積や大学等のシーズを活用したシナジー効果の増大とイノベーションの進展、製造業・ものづくり産業については、生産高度化や新市場獲得等による経営基盤の強化が望まれる。

※それぞれの産業における具体的な取組事例

- ・農林水産業：付加価値向上による競争力強化に係る取組

農業高校が取得したグローバルGAP認証作物を活用したお菓子の開発・販売（菓子メーカー）

- ・IT・クリエイティブ産業：イノベーション進展に向けた取組

遠隔地の状況確認の際、360°全天球カメラからの現地映像をVR（仮想現実）ゴーグルの装着により、まるで現場にいるかのような感覚で把握できるサービスの展開（情報通信事業者）

- ・ものづくり産業：新市場獲得に向けた取組

自動車部品分野で培った高い技術力・ノウハウを生かした車載電装部品の市場獲得を目指す事業化戦略の立案及びビジネスモデルの構築（精密加工メーカー）

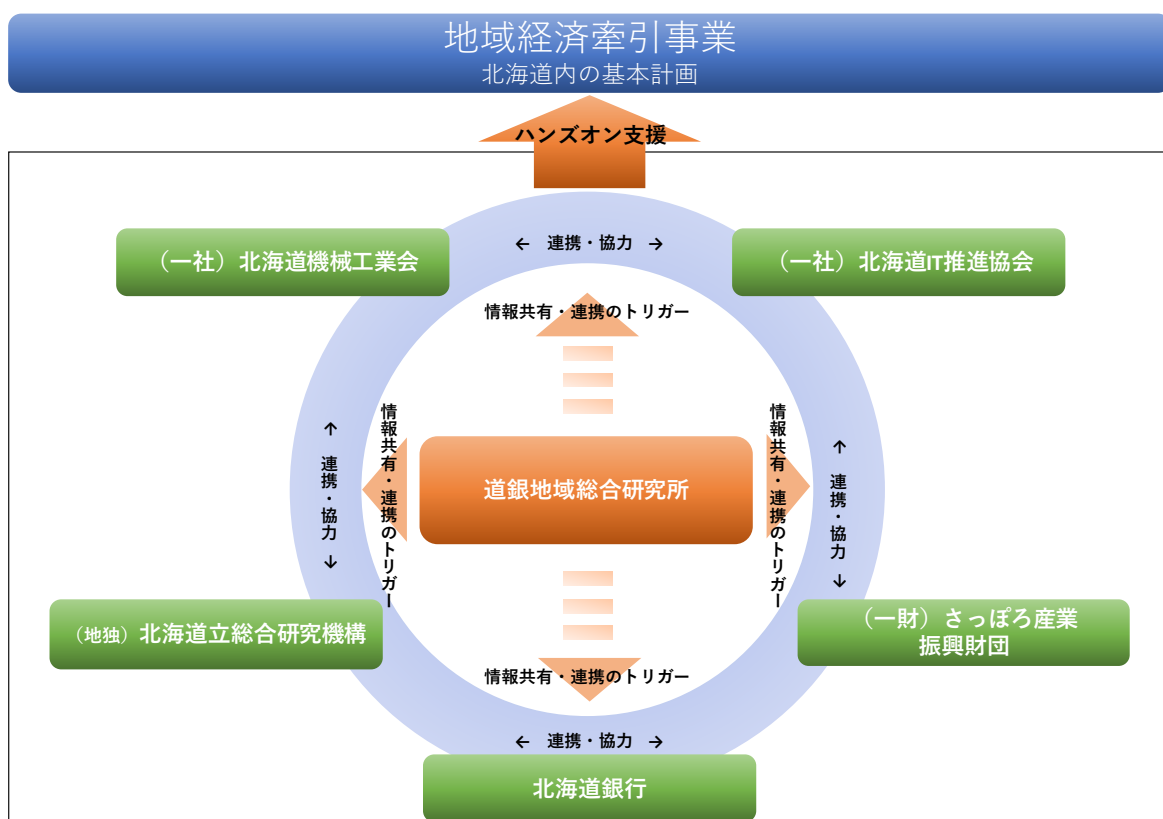
（2）地域における支援体制について

道内の農林水産業やものづくり産業、IT・クリエイティブ産業の次世代を見据えた事業活動については、主体である各企業・事業体がそれぞれの自助努力により実施していくことが前提と言えるが、中小企業が大半を占める北海道の企業・事業体にとっては、設備投資や研究開発人員の確保・育成、大企業や外国企業との営業・交渉、資金調達など、経営基盤の脆弱さのために対応しきれない場合が多い。企業・事業体のシーズが生むであろうイノベーションの可能性を消さないためにも、アライアンスによる相乗効果が期待される道内外の企業や技術シーズを有する試験研究機関、資金調達やビジネス面からの助言等が

期待される金融機関や、技術や市場動向・経営ノウハウを有するシンクタンク等の産学官金の連携を強化し、さらに道外の地域経済牽引支援機関等のノウハウ等を活用しながら、企業・事業体に対してより効果的・効率的な支援を実施していくことが重要である。

本計画では、各地域経済牽引支援機関の持つ知見やノウハウを効果的・効率的に活用するために、地域経済牽引事業やそれに関わる企業・事業体の情報を整理し、専門知識を有する北海道大学等の道内大学等の参画など、ケースに応じた適切な支援スキームを代表機関（株式会社道銀地域総合研究所）が中心となって整理・企画し、支援チームを組織することで、ハンズオンの支援を実施することを想定している。

地域経済牽引事業の支援体制



(3) 地域の各地域経済牽引支援機関の役割について

連携支援事業を共同で実施する各地域経済牽引支援機関の役割と責任については、「3 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の提携又は連絡に関する事項」の(1)に掲げるとおり明確化するとともに、同「3」の(2)に掲げる連携体制を構築して、地域経済牽引事業を効果的に支援していく。

(4) 地域内で不足する支援機能の地域外からの補完について

次世代の技術や市場を見据えた取組を支援していくためには、最新技術動向や世界的な市場形成の状況、アライアンスパートナー企業やアドバイザーの選定など、道内の様々な

支援機関の知見・ノウハウでは不足するケースも想定される。そこで、不足している知見・ノウハウの補完と、各種情報の収集・提供については、当該支援機関が有するネットワークを活用して、道外、海外の企業・機関と連携することとしている。

具体的には、国際レベルの知見を有する国立研究開発法人産業技術総合研究所や、地方銀行のネットワーク体で地域の企業情報に詳しい一般社団法人全国地方銀行協会、大手メーカーの技術者 OB 等を地域のものづくり企業に派遣している一般社団法人ものづくり改善ネットワークなど、ネットワークを有する機関と連携して不足する支援機能の補完を検討する。

(5) 想定する支援件数

産学官金の支援体制のもとで、道内の農林水産業やものづくり産業、IT・クリエイティブ産業の次世代を見据えた地域経済牽引事業を支援する。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
目標件数	6件	6件	6件	6件	6件	30件

2 連携支援事業の内容及び実施時期

(1) 連携支援事業の内容

各地域経済牽引支援機関の持つ知見やノウハウを効果的・効率的に活用するために、地域経済牽引事業やそれに関わる企業・事業体の情報を整理し、ケースに応じた適切な支援スキームを代表機関が中心となって整理・企画し、支援チームを組織するなど、ハンズオンの支援を実施する。

分野別の事業内容は以下のとおり。

①農林水産業分野

<方向性>

IoT、AI、ビッグデータ活用、ロボット等によるスマート農林水産業の展開

<支援内容>

- ・スマート農林水産業の実現に取り組む事業者や団体と連携した、成果発表等 PR の場の創出支援（セミナー、シンポジウム等）
- ・スマート農林水産業を実現するための情報共有、研究支援（研究会・勉強会の開催、情報収集・分析、専門家招聘等）
- ・スマート農林水産業を実現するための実証研究支援（試験研究機関への委託、実証実験等）

等

②ものづくり関連分野

<方向性>

IoT、AI、ビッグデータ活用、ロボット等による生産高度化、次世代新分野（電気

<p>自動車等) に対する市場開拓 <支援内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代新分野（電気自動車等）進出に向けた販路開拓支援（目利きによる市場とのマッチングや改善指導等） ・道内ものづくり企業の高度化のためのシーズマッチング支援（道内外 IT 企業等とのマッチング等） <p>等</p> <p>③IT・クリエイティブ関連分野 <方向性></p> <p>IoT、AI、ビッグデータ活用、ロボット等関連企業の育成強化、xR（VR、AR、MR）等エンターテインメント・ゲームから B to B ビジネス領域での活用展開</p> <p><支援内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先端的 IT に取り組む事業者や団体と連携した、成果発表等 PR の場の創出支援（セミナー、シンポジウム等） ・xR や AI 等の最新技術動向の情報収集、研究支援（研究会・勉強会の開催、情報収集・分析、専門家招聘等） ・国内外への企業シーズの販路開拓支援（展示会出展等） <p>等</p> <p>(2) 計画期間</p> <p>本計画の期間は承認の日から 2023 年度末日までとする。 (平成 31 年 2 月 28 日時点において、北海道内の 47 の同意基本計画のうち最も計画期限到来が遅い「2023 年度末日まで」となっているものと一致。)</p>

3 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の提携又は連絡に関する事項

(1) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びに当該地域経済牽引支援機関の役割

	当該連携支援事業を実施する者の①名称、②住所、③代表者名	④当該連携支援事業における役割
1	①株式会社道銀地域総合研究所 ②北海道札幌市中央区大通西 4 丁目 1 番地 道銀別館ビル ③代表取締役 上杉 真	④・当該連携支援事業の代表者 ・連携支援事業の進捗管理を実施 ・農林水産業、ものづくり、IT・クリエイティブに関する調査研究、コンサルティングの知見・ノウハウ、国内外のネットワークを活かした、ビジネス展開等の助言、コーディネート等の支援を実施
2	①一般社団法人北海道機械工業会 ②北海道札幌市中央区北 1 条西	④・技術力の向上対策事業や受注拡大対策事業、産学官交流推進事業、情報収集・調査研究事業等を通じた知見・ノウハウを活かした経営革新支

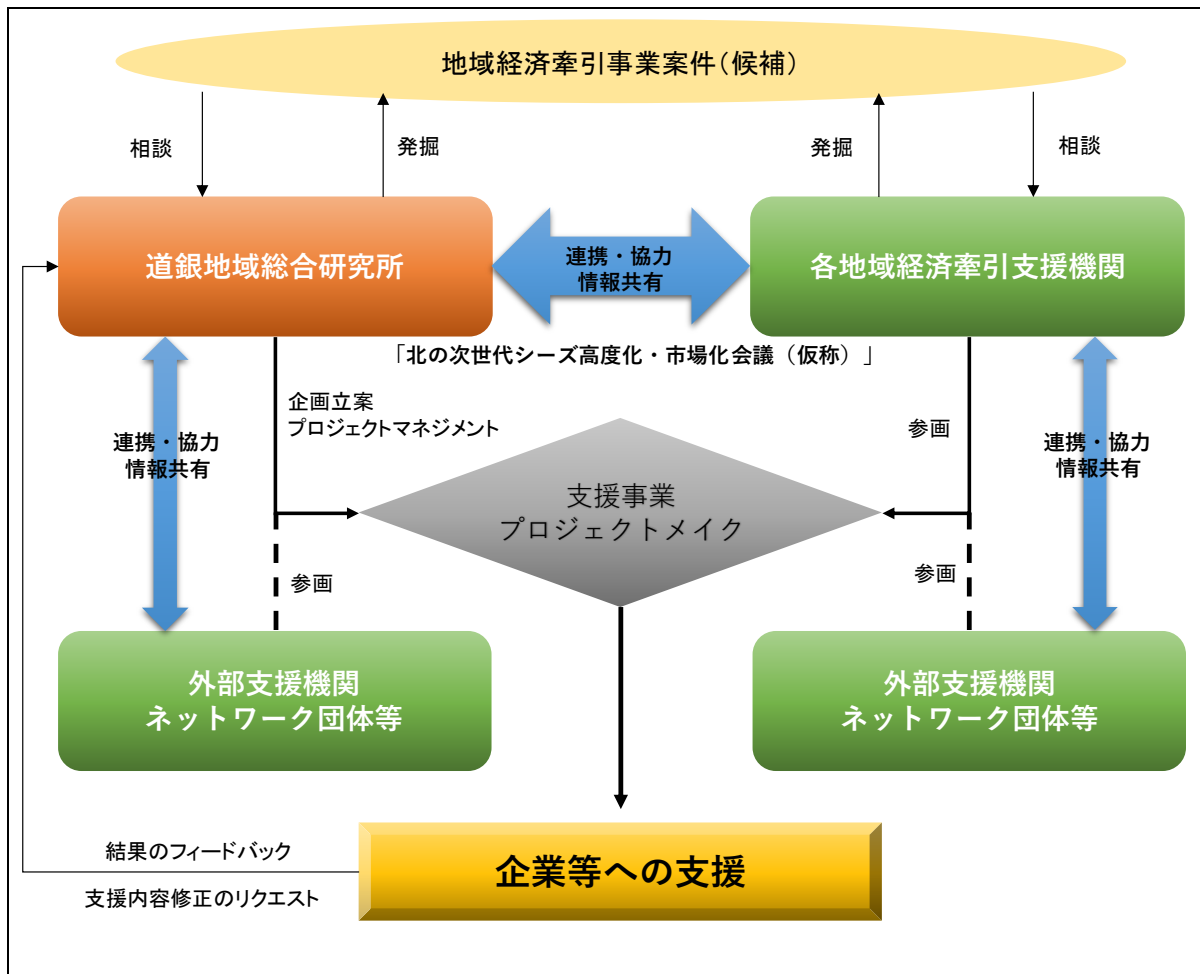
	7 丁目 3-2 北一条大和田ビル 4 階 ③会長 松本 英二	援や技術情報の提供 ・会員企業等ものづくり産業に関連した企業、団体に対する関連情報提供
3	①地方独立行政法人北海道立総合研究機構 ②北海道札幌市北区北 19 条西 11 丁目 北海道総合研究プラザ ③理事長 田中 義克	④・平成 22 年に農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野からなる道立の 22 の試験研究機関を統合して発足した当機構の知見・ノウハウを活用した技術指導、共同研究支援、技術情報の提供
4	①一般社団法人北海道 IT 推進協会 ②北海道札幌市中央区北 2 条西 3 丁目 1-16 太陽生命ひまわり札幌ビル 2 階 ③会長 森 正人	④・会員 IT 企業シーズの情報共有と他産業への PR ・会員 IT 企業等に対する関連情報提供 ・道外、海外の IT 関連団体（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会等）とのネットワーク活用による技術情報収集やアライアンス候補の選定
5	①一般財団法人さっぽろ産業振興財団 ②北海道札幌市白石区東札幌 5 条 1 丁目 1-1 ③理事長 秋元 克広	④・IT 関連企業とのマッチング支援 ・財団で運営を行っている官民のオープンデータ、ビッグデータ活用基盤である「札幌市 ICT 活用プラットフォーム」との連携 ・助成金活用による IT 利活用の推進支援
6	①株式会社北海道銀行 ②北海道札幌市中央区大通西 4 丁目 1 番地 ③代表取締役頭取 笹原 晶博	④・融資やファンド出資などの金融的視点からの助言、企業紹介 ・支店ネットワークを活用した地域プロジェクトへの支援

(2) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の相互の提携又は連絡に関する事項

北海道内の各地域における農林水産・ものづくり・IT 等の次世代向け高度化・市場化を目指した地域経済牽引事業等への支援を効果的かつ適切に実施するために、各地域経済牽引支援機関との連絡を密にし、案件に応じて必要な支援機関・メニューの選定、適宜プロジェクトチームの組成を代表機関（株式会社道銀地域総合研究所）が中心となり、マネジメントする。

各地域経済牽引支援機関それぞれが問い合わせ対応等で把握した支援案件についても、単独で解決できるもの以外については、本計画の主旨に合致するものについて、本計画の支援体制の中で情報共有し、必要に応じて事業支援を実施する。

具体的には年に 1 回以上は各地域経済牽引支援機関が一同に会する会議体（「北の次世代シーズ高度化・市場化会議（仮称）」）を開催し、各地域経済牽引支援機関の支援内容や体制について議論するとともに、メーリングリスト等の媒体を通じて、常時支援内容や進捗について情報共有し、支援途中で生じた問題点等にも適切に対処するよう努める。



II 任意記載事項

1 補助金等交付財産の活用に関する事項

該当なし

(別紙)

北海道内における同意基本計画（平成31年2月28日現在）に記載されている「5（1）地域の特性及びその活用戦略」と本支援計画における連携支援事業と整合性のある事業分野

<札幌市>

- ・IT産業の集積を活用したIT・クリエイティブ分野
- ・製造業の集積を活用したものづくり関連分野

<旭川市>

- ・機械金属産業の集積を活用したものづくり関連分野
- ・充実した高度情報通信基盤を活用したIT関連産業分野
- ・「旭川デザイン協議会」等の人材を活用したデザイン・クリエイティブ産業関連分野

<岩見沢市>

- ・充実した高度情報通信基盤を活用した第4次産業革命（IoT/AI活用の地域実装）

<芦別市>

- ・精密機械製造業等の集積を活用したものづくり関連分野

<江別市>

- ・「パルプ・紙・紙加工品製造業」「窯業・土石製品製造業」等の集積を活用したものづくり関連分野
- ・IT産業の集積を活用したIT関連産業分野

<砂川市>

- ・「化学工業」「窯業・土石製品製造業」等の集積を活用したものづくり関連分野

<室蘭市>

- ・鉄鋼業等の産業集積を活用した成長ものづくり分野（航空機等）
- ・室蘭工業大学等の人材を活用した成長ものづくり分野（航空機等）

<小樽市>

- ・金属製品製造業・プラスチック製品製造業等の集積を活用したものづくり関連分野

<恵庭市>

- ・道央自動車道等の交通インフラを活用したものづくり関連分野

<石狩市>

- ・大規模工業団地（石狩湾新港地域）等の産業インフラを活用したものづくり関連分野
- ・充実した通信インフラを活用したIT関連産業分野
- ・さやえんどう等の特産物を活用した農林水産分野

<赤平市>

- ・「かばん製造業」「木材・木製品製造業」等の集積を活用したものづくり関連分野

<千歳市>

- ・新千歳空港等のインフラを活用したIT関連産業分野

- ・ IT 産業の集積を活用した IT 関連産業分野
- ・ 千歳科学技術大学の人材を活用した IT 関連産業分野
- ・ 電子部品・デバイス・電子回路製造業、はん用機械器具製造業等の集積を活用したものづくり関連分野

<帯広市>

- ・ 帯広畜産大学等の技術を活用した農林水産分野
- ・ 生産用機械器具製造業等の集積を活用したものづくり関連分野
- ・ 農畜産業の集積を活用した IT 関連産業分野

<苫小牧市>

- ・ 自動車関連産業等の集積を活用したものづくり関連分野
- ・ 日本最大の産業地域「苫小牧東部地域」等のインフラを活用した第 4 次産業革命分野（自動車走行等）

<函館市・北斗市・七飯町>

- ・ 公立ほこだて未来大学等の人材を活用した第 4 次産業革命（IoT・AI 技術等）

<美唄市・奈井江町>

- ・ 「プラスチック製品製造業」「金属製品製造業」等の集積を活用したものづくり関連分野

<富良野市>

- ・ 野菜、乳用牛等の特産物を活用した農林水産分野

<北見市>

- ・ 北見工業大学等の IT 人材を活用した IT 関連産業分野
- ・ 北見工業技術センター等の公設試験研究機関の技術を活用したものづくり関連分野

<北広島市>

- ・ 化学工業、印刷・同関連業等の集積を活用したものづくり関連分野

<名寄市>

- ・ 生産量日本一のもち米等の特産物を活用した農林水産分野
- ・ 「パルプ・紙・紙加工品製造業」等の集積を活用したものづくり関連分野

<釧路市・白糠町>

- ・ 「紙・パルプ産業」「機械・金属産業」等の集積を活用したものづくり関連分野
- ・ IT 産業の集積を活用した IT 関連産業分野

<下川町>

- ・ 小麦、フルーツトマト、鶏卵等の特産物を活用した農林水産分野

<芽室町>

- ・ 北海道横断自動車道等の交通インフラを活用した農林水産分野
- ・ 流通関係企業の産業集積を活用した農林水産分野

<厚岸町>

- ・ 造船製造・修理業等の集積を活用したものづくり関連分野

<沼田町>

- ・積雪寒冷な自然環境を活用した農林水産分野
- ・深川・留萌自動車道等の交通インフラを活用したものづくり関連分野

<上富良野町>

- ・ものづくり関連産業の集積を活用したものづくり関連分野

<大樹町>

- ・「大樹町多目的航空公園」等の航空宇宙関連インフラを活用した成長ものづくり分野（小型ロケット開発等）
- ・生乳等の農畜産品を活用した農林水産関連分野

<鷹栖町>

- ・北海道縦貫自動車道等の交通インフラを活用したものづくり関連分野

<当別町>

- ・金属製品製造業の集積を活用したものづくり関連分野

<妹背牛町>

- ・お米等の特産物を活用した農林水産分野
- ・銑鉄鋳物製品製造業等の集積を活用したものづくり関連分野

<中札内村>

- ・枝豆等の農産物を活用した農林水産関連分野

<音更町>

- ・音更大袖振大豆等の特産物を活用した農林水産分野